

2月7日(金)	2月8日(土)	2月9日(日)	2月10日(月)	2月11日(火)(祝)
コンペティション部門入賞作品上映	特集◆Yahoo! ニュース 短編ドキュメンタリー選	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと
10:00— 入賞作品は2025年1月中に公式サイトにて発表されます。入場全作品を上映終了後、大賞作品を発表します。作品の総時間によっては、上映開始時間を変更する可能性があります。詳しくは公式サイトをご参照ください。	10:30— Yahoo! ニュース 短編ドキュメンタリー選 計50分	10:30— ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳 114分	11:00— 夜明けへの道 101分	10:30— はじけ鳳仙花 —わが筑豊わが朝鮮— 48分
18:15— コンペティション部門 表彰式	11:20—トーク 内田英恵 日向史有 西村陽次郎 金川雄策	12:25—トーク 長谷川三郎 山崎裕	12:45—トーク 久保田徹	11:20—トーク 石坂健治 <small>オンライン参加</small>
オープニング上映	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと
森達也◆セクション	古館寛治◆セクション	諏訪敦彦◆セクション	特集◆戦後80年 日々のごと	特集◆戦後80年 日々のごと
19:00— ★無料参考上映 78年目の和解 —サンダカン死の行進・遺族の軌跡— 50分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。	16:00— はりぼて 100分	16:00— 丸木位里 丸木俊 沖縄戦の図 全14部 88分	16:00— 花子 60分 日本語字幕付、UDCast音声ガイド対応	12:30— マリウボリの20日間 97分
20:00—トーク 森達也 湯本和寛	17:40—トーク 古館寛治 山崎裕	17:30—トーク 河邑厚徳	15:00—トーク 伊勢真一	14:10—トーク 大島新 山崎裕
2025年1月18日[土] チケット発売開始	19:00— ★無料参考上映 天皇の世紀 「バリの万国博覧会」26分 「麻仏殿釈」26分 ★上映は入場無料ですが上映後トークは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。	19:00— 私は憎まない 92分	19:00— 私には憎まない 92分	15:15— 蒼のシンフォニー 95分
◆高校生以下チケットを購入した方は入場の際に年齢確認できるものをご持参ください。	20:05—トーク 是枝裕和 今野勉	20:35—トーク 金平茂紀	20:35—トーク 安田菜津紀	16:50—トーク 朴英二 李相日
◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての入賞作品をご覧いただけます。	◆無料参考上映 表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には上映をご覧になったお席での観覧をお願い致します。	◆前売券は、全ての取扱場所で、上映前日までの販売となります。	◆前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。	◆やむを得ない事情により、プログラム及び来場ゲストが変更になる場合がございます。
◆「無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には上映をご覧になったお席での観覧をお願い致します。	◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックス（窓口・電話）でご予約頂くと、1割引きになります。	◆お客様都合による前売り券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。	◆フェスティバル期間中（2月7日～10日）は19時以降、地下会場の受付にて最終回終了時間まで前売り券を販売します。	●全プログラムとも録画、録音機器、及びPCの会場への持ち込みは禁じられています。
◆車いすスペースをご用意しております。（定員あり/要予約）。	◆車いすの大きさに制限がございます。詳細は座・高円寺チケットボックスへお問合せ下さい。	◆フェスティバル期間中（2月7日～10日）は19時以降、地下会場の受付にて最終回終了時間まで前売り券を販売します。		

「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

2月7日(金) 11日(火) タイムテーブル

特集◆戦後80年 日々のごと



ZA-KOENJI Documentary Festival Vol. 16

特集◆戦後80年 日々のごと

森達也
古館寛治
是枝裕和
諏訪敦彦
金平茂紀
安田菜津紀

湯本和寛
金川雄策
内田英恵
日向史有
西村陽次郎
熊谷博子
今野勉
長谷川三郎
山崎裕
川瀬美香
加瀬澤充
久保田徹
伊勢真一
河邑厚徳
石坂健治
大島新
李相日
朴英二
玉城ティナ
砂入博史

日々のごと

2025年1月18日[土] チケット発売開始

前売1回券一般¥1,500(当日¥1,800) 高校生以下¥1,000(前売・当日ともに)
(全回日時指定・整理番号付き自由席・前売券の販売は上映の前日まで)
ゲスト・セクション部門/特集上映部門/コンペティション部門入賞作品

◆高校生以下チケットを購入した方は入場の際に年齢確認できるものをご持参ください。

◆コンペティション部門入賞作品は、1枚のチケットで全ての入賞作品をご覧いただけます。

◆「無料参考上映」表記のある作品は、無料でご覧いただけます。ただし、上映後のトークイベントは有料です。チケットをお持ちの方から優先入場となります。トークイベントの際には上映をご覧になったお席での観覧をお願い致します。

◆障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックス（窓口・電話）でご予約頂くと、1割引きになります。

◆車いすスペースをご用意しております。（定員あり/要予約）。

◆車いすの大きさに制限がございます。詳細は座・高円寺チケットボックスへお問合せ下さい。

開場時間（開映時間の20分前が目安となります）より、チケット券面に書かれている整理番号順に入場していただけます。会場での整理番号配布は行いません。整理番号の順番は前売り券販売開始からの購入順となります。

主催・お問い合わせ先

「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」実行委員会
〒107-0052 東京都港区赤坂8-12-20 和晃ビル1階
(株)ドキュメンタリージャパン内
TEL:03-5570-3551 | FAX:03-5570-3550 | 公式HP: http://zkdf.net
Mail: za.koenji.documentary@gmail.com | @zkdf_net

チケット取り扱い

座・高円寺チケットボックス | 月曜定休 |

窓口 10:00—19:00
電話予約 03-3223-7300 (10:00~18:00)
WEB https://za-koenji.jp/

座・高円寺チケットボックスはこちらから

会場 | 座・高円寺2 | 〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2 地下2階
TEL:03-3223-7500 | HP: https://za-koenji.jp/

会場へのアクセス | JR中央線「高円寺」駅北口徒歩5分
土日、祝日の中央線快速は高円寺駅に停車しませんのでご注意ください。

映画・テレビの枠を超えたドキュメンタリー映像の祭典

開催期間 / 2025年 2月7日(金) 11日(火)(祝)

zkdf.net

映後提供: SBC信越放送, Yahoo! ニュースドキュメンタリー, OFFICE KUMAGAI, 彩プロ, 国際放映, ドキュメンタリージャパン, ART TRUE FILM, 加瀬澤充, ノンデライコ, 太秦, シングロ, 海燕社, ユナイテッドビーフール, モンターージュ, シンカ, NEWSTYLE, ムーリンプロダクション

座・高円寺 冬の劇場27

主催: 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会
共催: (株)ドキュメンタリージャパン / (株)104
提携: NPO法人 劇場創造ネットワーク / 座・高円寺
後援: 杉並区
助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団, アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成], 一般社団法人授業目的公衆送信権金等管理協会 (SARTRAS), 本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信権金等管理協会 (SARTRAS) の共通目的基金の助成を受けて運営されています

第16回特集◆ 戦後80年 日々のこと

第16回「座・高円寺」ドキュメンタリーフェスティバル

コンペティション部門 入賞作品上映

映画・テレビ・自主制作
——新しい才能を全国から発掘!

2.7金
10:00—入賞作品上映
18:15—入賞作品・大賞表彰式
18:30—終了予定

【審査員(予定・敬称略)】
佐藤信(劇作家・演出家)／橋本佳子(映像プロデューサー)／足立正生(映画監督)
大島新(ドキュメンタリー監督)／林加奈子(元映画祭ディレクター)

特集◆Yahoo! ニュース 短編ドキュメンタリー選 **2.8金 10:30** | 上映

心のアンテナ 監督:内田英恵 2023年|11分
“消えた”芸人 監督:日向史有 2020年|11分

私のママが決めたこと〜あの日から…家族の1年〜 テレクター:山本将寛 11分|フジテレビ「サ・ノンフィクション」
今晩泊めてください〜シュラフ石田の生きる道〜 テレクター:奥村かおり 5分|フジテレビ「サ・ノンフィクション」

※他、3分の短編ドキュメンタリー数本を併映予定

悩み相談サイトを通じて苦しむ人達に手を差し伸べ続けている住職取材した「心のアンテナ」。アメリカ進出を目指す芸人・村本大輔に密着した「消えた」芸人」。さらに、フジテレビ「ザ・ノンフィクション」で放送された作品を短編化した2本など、一挙上映。

11:20—トーク ゲスト 内田英恵 本作監督 | 日向史有 本作監督 | 西村陽次郎「サ・ノンフィクション」チーフプロデューサー 金川雄策 Yahoo!ニュースドキュメンタリー チーフプロデューサー

特集◆戦後80年 日々のこと **2.8金 13:00** | 上映

かつゑ的 日本語字幕付き、UDCast音声ガイド対応
監督:熊谷博子 2023年|119分

瀬戸内海にある国立ハンセン病療養所、長島愛生園。宮崎かつゑさんは10歳で入所以来、約80年、ずっとこの島で生きてきた。病気の影響で手の指や足を切断、視力もほとんど残っていない。本当の「らい患者」の感情を残したいというかつゑさんの覚悟を受け止め、8年通いつめた監督が記録した壮絶で美しい人生の記録。

15:00—トーク
ゲスト 熊谷博子 本作監督

ゲスト◆セレクション

森達也 ◆セレクション オープニング上映 **2.7金 19:00** | 上映

78年目の和解
—サンダカン死の行進・遺族の軌跡—
ディレクター:湯本和寛 2024年|50分|SBC信越放送

1945年に現マレーシア・ボルネオ島で起きた「サンダカン死の行進」。日本軍の無謀な移動命令によって、英豪軍の捕虜約2,400人のほか、日本兵や地元住民などが死亡した。元捕虜の親族や、戦犯として処刑された日本軍司令官の遺族など関係者20人余が戦跡めぐり、真実と向き合った葛藤と軌跡を追った。

★無料参考上映(上映後トーク有料)
—入れ替え— 20:00—トーク
ゲスト 森達也 映画監督、作家 | 湯本和寛 本作ディレクター

特集◆戦後80年 日々のこと **2.9日 10:30** | 上映

ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳
監督:長谷川三郎 2012年|114分

ヒロシマ、学生運動、三里塚闘争、自衛隊、公害、原発、そしてフクシマ。現場の最前線で「嘘っぱちのニッポン」を暴き続けてきた“反骨”の報道写真家、福島菊次郎90歳。「国の世話にならん」と年金を拒否、自らの原稿料だけで生計を立て、相棒犬ロクとの気ままな二人暮らし。その人生と写真が語る真の日本とは。

12:25—トーク
ゲスト 長谷川三郎 本作監督 山崎裕 本作カメラマン、プログラムディレクター

特集◆戦後80年 日々のこと **2.9日 13:30** | 上映

長崎の郵便配達
監督:川瀬美香 2023年|97分

「ローマの休日」のモチーフになったと言われるタウンゼンド大佐は、後にジャーナリストとなり、長崎で郵便配達の中で被爆した谷口少年と出会った。大火傷を負いながらも生還し、生涯を核廃絶にかけた彼を取材したタウンゼンドは書籍を出版。タウンゼンドの娘、イザベルが父の著書を頼りに二人の想いを紐解いていく。

15:10—トーク
ゲスト 川瀬美香 本作監督

特集◆戦後80年 日々のこと **2.10日 11:00** | 上映

夜明けへの道
監督・脚本・撮影:コ・パウ 2023年|101分|ミャンマー

ミャンマーの軍事クーデターにより、日常を突如奪われ、指名手配となった映画監督が、自身の逃亡生活と決意を記録したセルフドキュメンタリー。軍に都合が悪い情報を発信するものはすべて処罰の対象となるため、国内外に情勢を伝えることは困難な中、それでも、目を向けたいと制作された決意の実録映画。

12:45—トーク
ゲスト 久保田徹 ドキュメンタリー映像作家

ゲスト◆セレクション

是枝裕和 ◆セレクション **2.8金 19:00** | 上映

天皇の世紀 第13話 パリの万国博覧会
演出:今野勉 1973年|26分|朝日放送、国際放映

第23話 廣仏毀釈
演出:伊丹十三 1974年|26分|朝日放送、国際放映

大佛次郎の「天皇の世紀」を原作とした歴史ドキュメンタリー。「パリの万国博覧会」では1867年に開かれたパリ万博を訪れる徳川幕府の武士たちのひとりに伊丹十三が扮し、パリを闊歩する。伊丹十三が演出を務めた「廣仏毀釈」では、日本人と宗教の問題に切り込む。実験的な手法も多用された伝説的テレビ作品。

★無料参考上映(上映後トーク有料)
—入れ替え— 20:05—トーク 第13話「パリの万国博覧会」演出
ゲスト 是枝裕和 映画監督 | 今野勉 演出

特集◆戦後80年 日々のこと **2.10日 14:00** | 上映

花子 日本語字幕付き、UDCast音声ガイド対応
監督:佐藤真 2001年|60分

数々の傑作を世に送り出しながらも2007年に49歳で急逝したドキュメンタリー作家・佐藤真が、重度の自閉症を抱えるアーティスト・今村花子さんと彼女を取り巻く家族の姿をとらえたドキュメンタリー。繰り返される今村家の日常のなかで、毎日変わることなく「たべものアート」を作り続ける花子さんの姿を映し出す。

15:00—トーク
ゲスト 伊勢真一 ドキュメンタリー映像作家

特集◆戦後80年 日々のこと **2.10日 16:00** | 上映

丸木位里 丸木俊 沖縄戦の図 全14部
監督:河邑厚徳 2023年|88分

丸木位里・丸木俊が、晩年に取り組んだのが壮絶な地上戦を体験した沖縄戦だった。このドキュメンタリーは、全14部をすべて紹介する初めての試みであり、戦いを生き延びた沖縄の人びとの切実な「命ど宝(命こそ宝)」に共感共苦した、丸木夫妻の「人間といのち」への深い鎮魂と洞察の軌跡を辿っていく。

17:30—トーク
ゲスト 河邑厚徳 本作監督

特集◆戦後80年 日々のこと **2.11日(祝) 10:30** | 上映

はじけ鳳仙花 ~わが筑豊わが朝鮮~
監督:土本典昭 1984年|48分

ドキュメンタリー映画監督の土本典昭が、富山妙子の画集『はじけ!鳳仙花—美と生への問い』をもとに制作した記録映画。筑豊炭田を描き続けてきた富山自身が出演し、女優の李麗仙がナレーションを担当した。強制連行され炭鉱で重労働を強いられた朝鮮人たちと、横暴な日本人たちを描くグラフィの創作過程を追う。

11:20—トーク
ゲスト 石坂健治 映画研究者 ミシガン大学招聘教授 オンライン参加

ゲスト◆セレクション

諏訪敦彦 ◆セレクション **2.9日 16:15** | 上映

Appalachian Lenses
監督:加瀬澤亮 2024年|85分

アメリカ・ケンタッキー州の小さな町で1969年から続いている若者向けドキュメンタリーワークショップ。本作は貧困、過疎化などの問題を抱える田舎町のリアルにカメラを通じて向き合う若者たちを映し出す。しかし、完成披露上映会の前日に襲った大洪水。その後の町と若者たちの物語を追う。

17:40—トーク
ゲスト 諏訪敦彦 映画監督 | 加瀬澤亮 本作監督

特集◆戦後80年 日々のこと **2.11日(祝) 12:30** | 上映

マリウポリの20日間
監督・脚本・製作・撮影:ミスティラフ・チェルノフ 2023年|97分|ウクライナ・アメリカ

2022年2月、ウクライナ東部に位置するマリウポリへロシアが侵攻を開始。AP通信のウクライナ人記者である監督は、仲間と共に現地へ向かい、攻撃が激化する市内で、死にゆく子供たちや遺体の山、産院への爆撃など、ロシア軍による残虐行為を命懸けで記録した。第96回アカデミー賞長編ドキュメンタリー賞受賞作品。

14:10—トーク
ゲスト 大島新 ドキュメンタリー監督 山崎裕 プログラムディレクター

特集◆戦後80年 日々のこと **2.11日(祝) 15:15** | 上映

蒼のシンフォニー
監督:朴英二 2016年|95分

朝鮮学校では高校3年生になると、祖国・朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。彼らの祖国訪問の日々に同行し、在日コリアンの生徒たちのありのままの姿や、朝鮮の人々の素顔を捉えていく。在日の映画監督・朴英二が、逆境の中でも堂々と前を向いて生きていく彼らの希望に満ちた姿を、いきいきと映し出す。

16:50—トーク
ゲスト 朴英二 本作監督 李相日 映画監督

特集◆戦後80年 日々のこと **2.11日(祝) 18:00** | 上映

オキナワより愛を込めて
監督:砂入博史 2023年|101分|日本・アメリカ

沖縄を撮り続ける写真家、石川真生が自身の初期作を語る自伝的ドキュメンタリー。1971年の11.10ゼネストを目撃したことをきっかけに写真家への道を進んだ石川は、日本に復帰したばかりの沖縄で、日記をつけるように写真を撮り続けた。作品とそこにおさめられた人々との物語が歴史や時代背景と共に語られていく。

19:45—トーク
ゲスト 砂入博史 本作監督 玉城ティナ 女優

ゲスト◆セレクション

安田菜津紀 ◆セレクション **2.10日 19:00** | 上映

リッチランド
監督:アイリーン・ルスティック 2023年|93分|アメリカ

第2次世界大戦下のアメリカ、マンハッタン計画のもとで生まれた町・リッチランドの知られざる歴史と現在を描いたドキュメンタリー。誕生と発展の歴史をひも解きながら、人々の何気ない日常の背景に常に原爆が横たわっていた町の姿、そして科学の進歩がもたらした人類の業を、重層的に浮かび上がらせていく。

20:35—トーク
ゲスト 金平茂紀 ジャーナリスト

私は憎まない
監督:タル・バルダ 2024年|92分|カナダ・フランス

3人の愛娘をイスラエル軍による砲撃で殺されながらも、なお共存の可能性を信じ、平和と人間の尊厳を追求するガザ出身の医師イゼルディン・アブラエーシュ博士。決して復讐心や憎しみを持たない博士の赦しと和解の精神は世界中の人々に感動を与えてきた。しかし2023年10月7日以降、彼の信念は再び試されることになる。

20:35—トーク 認定NPO法人 Dialogue for People副代表
ゲスト 安田菜津紀 フォトジャーナリスト